

平成 28 年度福山少年自然の家における体験活動指導者研修

- 1 日 時 平成 28 年 6 月 6 日 (月) 午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
- 2 場 所 県立福山少年自然の家
- 3 受 講 者 6 人
- 4 講座内容 野外炊さん活動講座

- 5 受講者の事後アンケート結果 ※ 次の項目のうち, (2), (3), (4)についてまとめる。
事後アンケートの設問項目は, 次の 5 項目で行った。

- (1) この研修に参加しようと思った動機及び自分自身の目標達成度 (%) 【自由記述】
- (2) 研修内容 (プログラム) に対する評価 【4 段階評定及び自由記述】
- (3) 講師の指導に対する評価 【4 段階評定及び自由記述】
- (4) 研修で得たことはどんなことか 【自由記述】
- (5) 研修についての改善点や意見 (時期, 会場, 内容, 時間, その他) 【自由記述】

(※ 4 段階評定 : ①とてもよかった, ②よかった, ③あまりよくなかった, ④よくなかった)

<(2), (3)の 4 段階評定結果>

設問項目	分かりやすい	まあまあ分かりやすい	少し分かりにくい	分かりにくい	肯定的評価の割合 (とてもよかった よかった 等)
研修内容 (プログラム) に対する評価	5 人	1 人	0 人	0 人	100%
	役に立つ	まあまあ役に立つ	あまり役にたたない	役に立たない	100%
	5 人	1 人	0 人	0 人	
設問項目	とてもよかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった	100%
講師の指導に対する評価	6 人	0 人	0 人	0 人	

<自由記述の主な内容>

研修内容 (プログラム) に対する評価	
肯定的意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少人数で, しっかりと学ぶことができた。主体的に取り組める内容でした。 ○ とても丁寧に指導をして頂くことができて嬉しかった。学んだことをどんどん, これから生かしていきたいと思った。人間関係づくりの実際は, これからすぐに役立てることのできるものであった。 ○ 実際に体験することで, お米の炊き方, 火のおこし方やそのポイントが分かり, 子供たちへの声かけをどうするか, イメージすることができました。 ○ 前回 (5 月 30 日) も参加しましたが, 人間関係づくりの演習では, 前回にないゲームが入っていたので, また一つ学びが増えました。野外炊さんやリスクマネジメントも, 未知の部分がたくさん知れたので, 子供たちの前でも理解した上で指導できると思います。 ○ 演習・講義ともに, とても勉強になりました。同じことをしていても, 人の数だけ思いや感じ方があることを再認識したし, それによって学びが深まるのだと思いました。普段から, 色々なことに疑問をもって生活していくことは大切だと思いました。 ○ 野外炊さんがテーマでしたが, 最初の人間関係づくりから, リスクマネジメントの方法まで一連の流れで, 学びが深かったと思います。

講師の指導に対する評価	
肯定的意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ とても身近に感じる中で、丁寧な指導をしていただきました。 ○ とても丁寧で分かりやすかった。また、ニーズに応じていただける指導であった。 ○ とても丁寧に声かけをしてくださいました。活動する際、危険なこと、うまくいくポイントを見せてもらいながら指導していただきました。 ○ 例え話を踏まえながらの説明で、とても分かりやすかったです。 ○ 「危険」や「リスク」でさえ、学びになる、学びに変えていくという話が印象に残りました。 ○ 分かりやすく、丁寧に指導していただきました。

研修で得たことはどんなことか
<ul style="list-style-type: none"> ○ アイスブレイク、さっそくやってみます。火がつきにくい時の裏ワザが知れてよかった。細い薪を真ん中で折って立てるのも「なるほど」と思いました。 ○ 人間関係づくりや野外炊さんでの安全確保。リスクマネジメントは、学校の教員向けの研修等で実施してみたいと思った。 ○ 事前に、子供たち自身に危険な場面を見つけさせ、安全のためにすべき行動を自分たちで考えさせるとよいことを学びました。野外炊さんを体験したことで、子供にもポイントを押さえて、自信をもって指導することができそうです。プログラムを組む際も、子供の実態に合わせて、目的をしぼって設定したいです。 ○ 子供たちの学びを奪わないように、日々の授業づくりも考えていきたいです。リスクマネジメントを、もう少し学級経営で意識しなければいけないと、自分を見直すことができました。 ○ 今回は、危険やリスクのことに特化してじっくり考えることができているが、普段の振り返りでも、今日のことを使いながら、振り返りができたらいいと思う。分かっている「うっかりしていた」ということが事故に関わるリスクになるが、それも学びになると思った。 ○ 実際に、活動中にあったリスクの写真を撮影して、後の講義で安全管理の説明に利用したことは、非常に分かりやすく、学習効果は高いと思いました。

6 成果と課題

- 小学校教諭のアンケートには「野外炊さんを体験したことで、子供にもポイントを押さえて、自信をもって指導することができそうです」「野外炊さんやリスクマネジメントも、未知の部分がたくさん知れたので、子供たちの前でも理解した上で指導できると思います」とあった。

小学校長期集団宿泊活動前に、指導者自身が実際の活動を体験して知識や技能を習得することで、指導することに対して自信を深めることができた。

- 教育施設職員のアンケートには「リスクマネジメントは、学校の教員向けの研修等で実施してみたいと思った」「非常に分かりやすく、学習効果は高いと思いました」とあり、研修した内容や説明の仕方が充実していたことが伺えた。

- 「野外炊さんがテーマでしたが、最初の人間関係づくりから、リスクマネジメントの方法まで一連の流れで、学びが深かったと思います」「主体的に取り組める内容でした」とあった。

今回の研修は、今年度から当施設が提供している「学びの手法」を用いて実施することで、受講者には「学び方を学ぶ」ということを実感していただけた。

- 昨年度の分析から、運動会開催日を調査し、時期をずらして開催したが、受講者を思うように集めることができなかった。

受講者からは、研修内容について高い評価をいただいたが、参加者募集の段階で「野外炊さん活動」研修の魅力を伝えきれていないことや、講座の認知度が低いと考えられる。

長期集団宿泊体験活動前に実施することで、即実践につながるようこの時期に計画しているが、今後は次年度に向けた研修として、視点を変えながら募集を工夫したい。







